

薩摩茶の湯と

黎明館企画特別展

日本を代表する文化である「茶の湯」は、平安末期から鎌倉時代、禅宗とともに中国からもたらされた抹茶を飲む習慣に始まり、時代とともに道具や作法、設えが整えられ、独自の文化として発展しました。安土桃山時代、千利休(1522～1591)が「侘茶」を大成したことにより完成期を迎え、現代まで受け継がれてきました。

本展では、歴史の動向やさまざまな文化交流によって育まれ、拡がりを見せる薩摩の茶の湯の様相を、茶道具を中心に歴史資料や出土遺物等を通じて紹介するとともに、茶の湯の中で重用された名品の数々を紹介します。



第1章 唐物から和物へ 侘茶の大成

- 第1節 室町幕府・将軍家の唐物愛好
- 第2節 侘茶の大成と和物の隆盛

第2章 戦国武将と茶の湯

- 第1節 島津義弘
- 第2節 細川忠興と松井康之
- 第3節 立花宗茂

第3章 薩摩の茶の湯

- 第1節 中世薩摩の茶の湯
- 第2節 近衛家と島津家
- 第3節 島津義弘と薩摩の茶陶
- 第4節 大名茶への展開

第4章 琉球の茶の湯

- 第1節 考古資料からみた琉球の茶の湯
- 第2節 中国・薩摩と琉球の茶の湯
- 第3節 琉球の工芸

第5章 桃山の茶陶と九州諸窯

- 第1節 美濃とその周辺
- 第2節 九州諸窯



記念講演会 聴講無料 事前申込

展示解説講座 聴講無料 事前申込

ワークショップ(全2回) 事前申込

A
9月24日(土)13:30～15:00
戦国武将と茶の湯

東京大学史料編纂所教授
本郷和人氏
黎明館2階 講堂/245席

B
10月1日(土)13:30～15:00
琉球のお茶の話

沖縄県立博物館・美術館館長
田名真之氏
黎明館2階 講堂/245席

C
10月15日(土)13:30～15:00
薩摩の茶の湯文化
—島津家を中心に—

尚古集成館 前館長 田村省三氏
黎明館2階 講堂/245席

D
10月29日(土)13:30～15:00
茶の湯と薩摩

黎明館学芸課 主任学芸専門員
深港恭子
黎明館2階 講堂/245席

E
10月9日(日)13:00～15:30
・30日(日)13:00～15:00
薩摩焼の抹茶碗づくり体験
～手びねりとロクロでつくる2つの器～

琴鳴堂 四元 誠氏
講座室・茶室 定員20名(両日とも参加できる方)
参加費 一般2,000円、大学生1,750円、高校生以下1,400円

申込期間:8月2日(火)～9月6日(火)〈消印有効〉

申込期間:8月2日(火)～9月27日(火)〈消印有効〉

申込期間:9月1日(木)～9月20日(火)〈消印有効〉

記念講演会・展示解説講座は、前期プログラム(A・B)／後期プログラム(C・D)ごとに、1通につき2講座まで申込みできます。ワークショップEは1通でお申し込みください。同一講座を希望する同一住所の方のみ、1通につき2名様まで応募できます。往復ハガキの往信面に希望する講座のアルファベット、郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号を、返信面に郵便番号、住所、氏名をご記入のうえお送りください。
〒892-0853 鹿児島市城山町7-2 黎明館講演会(前期/後期/ワークショップ)係宛 お問い合わせ 099-222-5404

茶会 事前申込(先着順)

10月23日(日)

①10:00～②10:50～③11:40～④12:30～
⑤13:20～⑥14:10～⑦15:00～⑧15:50～

協力 茶道裏千家淡交会鹿児島支部
参加費 700円(抹茶・菓子代)

申込期間:9月1日(木)～10月11日(火)〈先着順〉

往復ハガキの往信面に希望する時間の番号(第2希望まで)、郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号を、返信面に郵便番号、住所、氏名をご記入のうえお送りください。
〒892-0853 鹿児島市城山町2-22 溝口宗光方
茶道裏千家淡交会鹿児島支部宛
お問い合わせ 099-225-5966

呈茶席 当日受付

10月2日(日)・9日(日)・16日(日)・30日(日)

13:00～16:00

協力 表千家・裏千家
参加費 500円(抹茶・菓子代)

※関連イベントの申込方法などの詳細はホームページをご覧ください。

※定員を変更する場合があります。

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、変更が生じる場合は、当館ホームページ・SNS(Twitter、Facebook)でお知らせいたします。



左側:上から、(鹿児島県指定文化財)撰作厨筒 銘平野 尚古集成館蔵/薩摩耳付茶入 三井記念美術館蔵/白磁無地金襴手馬土杯(金瑠璃) 黎明文庫蔵/(沖縄県指定文化財)黒漆雲龍螺鈿碗 沖縄県立博物館・美術館蔵/(重要文化財)黒漆茶碗 銘後寛三井記念美術館蔵/右側:上から、(重要文化財)油滴天目 九州国立博物館蔵/薩摩肩衝茶入 道正庵 沈家伝世品収蔵庫蔵/書状 二月十四日 松井康之宛 千利休筆 松井文庫蔵/織部洲浜形手鉢 東京国立博物館蔵 Image:TNM Image Archives



鹿児島県歴史・美術センター
黎明館